

令和5年9月1日

「建築材料・設備機材等品質性能評価事業」

関係者各位

一般社団法人 公共建築協会

評価基準の改定について

拝啓

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。また、平素より当協会に対して格別のお引き立てをいただき厚く御礼申し上げます。

さて、当協会の建築材料・設備機材等品質性能評価事業における、建築材料・設備機材等の評価基準（以下「評価基準」という。）を、JIS 改正等に伴い改定を行いました。改定内容は、別紙を参照してください。

評価基準の改定により、申請内容と評価基準との間に差異が生じている場合があります。

つきましては、貴社の申請内容と建築材料等評価基準との差異を確認のうえ、差異が確認された際には、下記1. 2. のいずれかにより対応いただきますようお願い申し上げます。

なお、当該文書については、国・地方公共団体等の発注者へも送付していることを申し添えます。

敬具

記

1. 変更評価による対応

評価基準の改定部分と貴社の申請内容の間に生じている差異について、次に示すように、変更評価を申請し評価書を取得してください。

(1) 変更申請の手続き

①変更申請の手続きについては、「変更評価の手続きについて」に基づき、申請書類を作成してください。

なお、申請の際ご不明な点等がある場合は、事務局宛てメール等でご相談ください。

②受付は随時行っています。受付審査が終了次第、直近の評価委員会に諮り審査を実施します。

③変更評価が終了した場合には、評価書を交付するとともに、当協会のホームページにて公表します。

(2) 変更申請の経費

変更評価の内容により評価料金は異なります。「建築材料及び設備機材 評価申込案内」により確認を行ってください。

2. 既評価書をそのまま継続使用

各工事において、評価基準が改定された部分について、品質性能等の証明書を評価書とともに提出するなど、改定により内容に差異が生じた部分の証明を工事ごとに行ってください。

評価基準（令和5年度版）と差異が生じている既評価材料・設備機材等を使用する工事に納入する場合、これまでは、品質性能等の証明として評価書の写しを提出していたと思いますが、それに加えて評価基準に適合することを、各工事において、証明書、検査成績書等の提出により証明してください。

なお、これについては、発注者側の了解を得たものではありませんので、提出時に発注者側への説明も必要となります。

3. 問い合わせ先

一般社団法人 公共建築協会 評価事務局

Tel 03-3523-0384 Fax 03-3523-1827（建築、電気設備、機械設備共通）

Mail 建築材料等評価部：hyokajigyo-a@pba.or.jp

電気設備機材等評価部：hyokajigyo-e@pba.or.jp

機械設備機材等評価部：hyokajigyo-m@pba.or.jp

機械設備機材等評価基準 新旧対照表

* 下表は、令和4年版から令和5年版への改定部分のみ掲載しています。評価書との差異を確認するには、過去の対照表もご確認ください。

* 下表は、機械設備機材等評価基準の品目ごとに改定内容を記載したものです。改定後と従来の評価基準の改定箇所を抜粋しています。

* **赤字**は、改定箇所を示しています。

品目	令和4年度版	令和5年度版	改正理由																																																																												
冷凍機 ①チリングユニット及び 空気熱源ヒートポンプ ユニット	<水冷式>	<水冷式>	標仕改定による見直し																																																																												
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">項目</th> <th style="width: 10%;">単位等</th> <th style="width: 60%;">評価基準</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3.4 蒸発器</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>(a) 冷却器</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">(円筒多管形・二重管形)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3.5 安全装置</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>① 冷水過冷却温度保護制御機能</td> <td style="text-align: center;">具備</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	項目		単位等	評価基準	3.4 蒸発器			(a) 冷却器			(円筒多管形・二重管形)			3.5 安全装置			① 冷水過冷却温度保護制御機能	具備		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">項目</th> <th style="width: 10%;">単位等</th> <th style="width: 60%;">評価基準</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3.4 蒸発器</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>(a) 冷却器</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">(円筒多管形・二重管形)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3.5 冷水ポンプ</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">ポンプ形式</td> <td></td> <td style="color: red;">電動機直結形、電動機直動形</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">ケーシングの材質</td> <td></td> <td style="color: red;">JISG5501(ねずみ鉄品のFC200以上)、JISG4305(冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯)のSUS304、または、JISG5121(ステンレス鋼鋼品)のSCS13</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">羽根車の材質</td> <td></td> <td style="color: red;">JISH5120(鋼及び鋼合金鋼物)のCAC406、JISG4305(冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯)のSUS304、または、JISG5121(ステンレス鋼鋼品)のSCS13</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">主軸の材質</td> <td></td> <td style="color: red;">JISG4303(ステンレス鋼棒)のSUS304、SUS403、若しくは、SUS420J2、または、JISG4051(機械構造用炭素鋼鋼材)のS30C以上とする。なお、JISG4051(機械構造用炭素鋼鋼材)による場合は、スリーブ形のものに限る</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">軸封</td> <td></td> <td style="color: red;">パッキンまたはメカニカルシールによるものとする。メカニカルシールの摺動部は超硬合金、セラミックまたはカーボンを組み合わせたものとする。また、潤滑油が搬送流体に混入しない構造とする。</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">電動機</td> <td></td> <td style="color: red;">第2編1. 2. 1「電動機」による</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">電動機の仕様、形式</td> <td></td> <td style="color: red;">製造者標準</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">始動方式</td> <td></td> <td style="color: red;">製造者標準</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">羽根車の最小厚さ</td> <td style="text-align: center;">mm</td> <td style="color: red;">JISE8313「小型渦巻ポンプ」の当該事項による</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">ポンプ効率</td> <td></td> <td style="color: red;">JISE8313「小型渦巻ポンプ」の当該事項による</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">吐出し量の試験方法</td> <td></td> <td style="color: red;">JISE8313「小型渦巻ポンプ」の当該事項による</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">揚程の試験方法</td> <td></td> <td style="color: red;">JISE8313「小型渦巻ポンプ」の当該事項による</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">軸動力の試験方法</td> <td></td> <td style="color: red;">JISE8313「小型渦巻ポンプ」の当該事項による</td> </tr> <tr> <td>3.6 安全装置</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>① 冷水過冷却温度保護制御機能</td> <td style="text-align: center;">具備</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	項目	単位等	評価基準	3.4 蒸発器			(a) 冷却器			(円筒多管形・二重管形)			3.5 冷水ポンプ			ポンプ形式		電動機直結形、電動機直動形	ケーシングの材質		JISG5501(ねずみ鉄品のFC200以上)、JISG4305(冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯)のSUS304、または、JISG5121(ステンレス鋼鋼品)のSCS13	羽根車の材質		JISH5120(鋼及び鋼合金鋼物)のCAC406、JISG4305(冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯)のSUS304、または、JISG5121(ステンレス鋼鋼品)のSCS13	主軸の材質		JISG4303(ステンレス鋼棒)のSUS304、SUS403、若しくは、SUS420J2、または、JISG4051(機械構造用炭素鋼鋼材)のS30C以上とする。なお、JISG4051(機械構造用炭素鋼鋼材)による場合は、スリーブ形のものに限る	軸封		パッキンまたはメカニカルシールによるものとする。メカニカルシールの摺動部は超硬合金、セラミックまたはカーボンを組み合わせたものとする。また、潤滑油が搬送流体に混入しない構造とする。	電動機		第2編1. 2. 1「電動機」による	電動機の仕様、形式		製造者標準	始動方式		製造者標準	羽根車の最小厚さ	mm	JISE8313「小型渦巻ポンプ」の当該事項による	ポンプ効率		JISE8313「小型渦巻ポンプ」の当該事項による	吐出し量の試験方法		JISE8313「小型渦巻ポンプ」の当該事項による	揚程の試験方法		JISE8313「小型渦巻ポンプ」の当該事項による	軸動力の試験方法		JISE8313「小型渦巻ポンプ」の当該事項による	3.6 安全装置			① 冷水過冷却温度保護制御機能
項目	単位等	評価基準																																																																													
3.4 蒸発器																																																																															
(a) 冷却器																																																																															
(円筒多管形・二重管形)																																																																															
3.5 安全装置																																																																															
① 冷水過冷却温度保護制御機能	具備																																																																														
項目	単位等	評価基準																																																																													
3.4 蒸発器																																																																															
(a) 冷却器																																																																															
(円筒多管形・二重管形)																																																																															
3.5 冷水ポンプ																																																																															
ポンプ形式		電動機直結形、電動機直動形																																																																													
ケーシングの材質		JISG5501(ねずみ鉄品のFC200以上)、JISG4305(冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯)のSUS304、または、JISG5121(ステンレス鋼鋼品)のSCS13																																																																													
羽根車の材質		JISH5120(鋼及び鋼合金鋼物)のCAC406、JISG4305(冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯)のSUS304、または、JISG5121(ステンレス鋼鋼品)のSCS13																																																																													
主軸の材質		JISG4303(ステンレス鋼棒)のSUS304、SUS403、若しくは、SUS420J2、または、JISG4051(機械構造用炭素鋼鋼材)のS30C以上とする。なお、JISG4051(機械構造用炭素鋼鋼材)による場合は、スリーブ形のものに限る																																																																													
軸封		パッキンまたはメカニカルシールによるものとする。メカニカルシールの摺動部は超硬合金、セラミックまたはカーボンを組み合わせたものとする。また、潤滑油が搬送流体に混入しない構造とする。																																																																													
電動機		第2編1. 2. 1「電動機」による																																																																													
電動機の仕様、形式		製造者標準																																																																													
始動方式		製造者標準																																																																													
羽根車の最小厚さ	mm	JISE8313「小型渦巻ポンプ」の当該事項による																																																																													
ポンプ効率		JISE8313「小型渦巻ポンプ」の当該事項による																																																																													
吐出し量の試験方法		JISE8313「小型渦巻ポンプ」の当該事項による																																																																													
揚程の試験方法		JISE8313「小型渦巻ポンプ」の当該事項による																																																																													
軸動力の試験方法		JISE8313「小型渦巻ポンプ」の当該事項による																																																																													
3.6 安全装置																																																																															
① 冷水過冷却温度保護制御機能	具備																																																																														

品 目	令和4年度版	令和5年度版	改正理由																																																																					
冷凍機 ①チリングユニット及び 空気熱源ヒートポンプユ ニット	<空冷/空気熱源ヒートポンプ> <table border="1" data-bbox="483 320 1097 437"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>単位等</th> <th>評価基準</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3.4 冷却器(加熱器兼冷却器)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>(a) 冷却器</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3.5 安全装置</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>①冷水過冷却温度保護制御機能</td> <td>具備</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	項目	単位等	評価基準	3.4 冷却器(加熱器兼冷却器)			(a) 冷却器			3.5 安全装置			①冷水過冷却温度保護制御機能	具備		<空冷/空気熱源ヒートポンプ> <table border="1" data-bbox="1173 320 1765 879"> <tbody> <tr> <td>3.4 冷却器(加熱器兼冷却器)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>(a) 冷却器</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3.5 冷水ポンプ</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ポンプ形式</td> <td></td> <td>電動機直結形、電動機直動形</td> </tr> <tr> <td>ケーシングの材質</td> <td></td> <td>JISG5501(おすみ鉄品のFC200以上)、JISG4305(冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯)のSUS304、または、JISG5121(ステンレス鋼鋼品)のSCS13</td> </tr> <tr> <td>羽根車の材質</td> <td></td> <td>JISH5120(銅及び銅合金鋼物)のCAC406、JISG4305(冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯)のSUS304、または、JISG5121(ステンレス鋼鋼品)のSCS13</td> </tr> <tr> <td>主軸の材質</td> <td></td> <td>JISG4303(ステンレス鋼棒)のSUS304、SUS403、若しくは、SUS420J2、または、JISG4051(機械構造用炭素鋼鋼材)のS30C以上とする。なお、JISG4051(機械構造用炭素鋼鋼材)による場合は、スリーブ形のものに限る</td> </tr> <tr> <td>軸封</td> <td></td> <td>パッキンまたはメカニカルシールによるものとする。メカニカルシールの摺動部は超硬合金、セラミックまたはカーボンを組み合わせたものとする。また、潤滑油が搬送流体に混入しない構造とする。</td> </tr> <tr> <td>電動機</td> <td></td> <td>第2編1.2.1「電動機」による</td> </tr> <tr> <td>電動機の仕様、形式</td> <td></td> <td>製造者標準</td> </tr> <tr> <td>始動方式</td> <td></td> <td>製造者標準</td> </tr> <tr> <td>羽根車の最小厚さ</td> <td>mm</td> <td>JISE8313「小型渦巻ポンプ」の当該事項による</td> </tr> <tr> <td>ポンプ効率</td> <td></td> <td>JISE8313「小型渦巻ポンプ」の当該事項による</td> </tr> <tr> <td>吐出し量の試験方法</td> <td></td> <td>JISE8313「小型渦巻ポンプ」の当該事項による</td> </tr> <tr> <td>揚程の試験方法</td> <td></td> <td>JISE8313「小型渦巻ポンプ」の当該事項による</td> </tr> <tr> <td>軸動力の試験方法</td> <td></td> <td>JISE8313「小型渦巻ポンプ」の当該事項による</td> </tr> <tr> <td>3.6 安全装置</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>①冷水過冷却温度保護制御機能</td> <td>具備</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	3.4 冷却器(加熱器兼冷却器)			(a) 冷却器			3.5 冷水ポンプ			ポンプ形式		電動機直結形、電動機直動形	ケーシングの材質		JISG5501(おすみ鉄品のFC200以上)、JISG4305(冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯)のSUS304、または、JISG5121(ステンレス鋼鋼品)のSCS13	羽根車の材質		JISH5120(銅及び銅合金鋼物)のCAC406、JISG4305(冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯)のSUS304、または、JISG5121(ステンレス鋼鋼品)のSCS13	主軸の材質		JISG4303(ステンレス鋼棒)のSUS304、SUS403、若しくは、SUS420J2、または、JISG4051(機械構造用炭素鋼鋼材)のS30C以上とする。なお、JISG4051(機械構造用炭素鋼鋼材)による場合は、スリーブ形のものに限る	軸封		パッキンまたはメカニカルシールによるものとする。メカニカルシールの摺動部は超硬合金、セラミックまたはカーボンを組み合わせたものとする。また、潤滑油が搬送流体に混入しない構造とする。	電動機		第2編1.2.1「電動機」による	電動機の仕様、形式		製造者標準	始動方式		製造者標準	羽根車の最小厚さ	mm	JISE8313「小型渦巻ポンプ」の当該事項による	ポンプ効率		JISE8313「小型渦巻ポンプ」の当該事項による	吐出し量の試験方法		JISE8313「小型渦巻ポンプ」の当該事項による	揚程の試験方法		JISE8313「小型渦巻ポンプ」の当該事項による	軸動力の試験方法		JISE8313「小型渦巻ポンプ」の当該事項による	3.6 安全装置			①冷水過冷却温度保護制御機能	具備		標仕改定による見直し
項目	単位等	評価基準																																																																						
3.4 冷却器(加熱器兼冷却器)																																																																								
(a) 冷却器																																																																								
3.5 安全装置																																																																								
①冷水過冷却温度保護制御機能	具備																																																																							
3.4 冷却器(加熱器兼冷却器)																																																																								
(a) 冷却器																																																																								
3.5 冷水ポンプ																																																																								
ポンプ形式		電動機直結形、電動機直動形																																																																						
ケーシングの材質		JISG5501(おすみ鉄品のFC200以上)、JISG4305(冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯)のSUS304、または、JISG5121(ステンレス鋼鋼品)のSCS13																																																																						
羽根車の材質		JISH5120(銅及び銅合金鋼物)のCAC406、JISG4305(冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯)のSUS304、または、JISG5121(ステンレス鋼鋼品)のSCS13																																																																						
主軸の材質		JISG4303(ステンレス鋼棒)のSUS304、SUS403、若しくは、SUS420J2、または、JISG4051(機械構造用炭素鋼鋼材)のS30C以上とする。なお、JISG4051(機械構造用炭素鋼鋼材)による場合は、スリーブ形のものに限る																																																																						
軸封		パッキンまたはメカニカルシールによるものとする。メカニカルシールの摺動部は超硬合金、セラミックまたはカーボンを組み合わせたものとする。また、潤滑油が搬送流体に混入しない構造とする。																																																																						
電動機		第2編1.2.1「電動機」による																																																																						
電動機の仕様、形式		製造者標準																																																																						
始動方式		製造者標準																																																																						
羽根車の最小厚さ	mm	JISE8313「小型渦巻ポンプ」の当該事項による																																																																						
ポンプ効率		JISE8313「小型渦巻ポンプ」の当該事項による																																																																						
吐出し量の試験方法		JISE8313「小型渦巻ポンプ」の当該事項による																																																																						
揚程の試験方法		JISE8313「小型渦巻ポンプ」の当該事項による																																																																						
軸動力の試験方法		JISE8313「小型渦巻ポンプ」の当該事項による																																																																						
3.6 安全装置																																																																								
①冷水過冷却温度保護制御機能	具備																																																																							

品目	令和4年度版	令和5年度版	改正理由																																																								
衛生器具ユニット	データシート2 ○大便器ユニット <table border="1" data-bbox="465 245 801 628"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>評価基準</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2. 器具の組合せ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>構成 1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>便器</td> <td>Ⅱ形大便器</td> </tr> <tr> <td>便座</td> <td>温水洗浄機能(水道直結水方式) 節電機能 脱臭機能</td> </tr> <tr> <td>洗浄水量</td> <td>6.5L/回以下(タコ式・洗浄弁式)</td> </tr> <tr> <td>構成 2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>便器</td> <td>その他大便器</td> </tr> <tr> <td>便座</td> <td>温水洗浄機能(水道直結水方式) 節電機能 脱臭機能</td> </tr> <tr> <td>洗浄水量</td> <td>6.5L/回以下(タコ式・洗浄弁式)</td> </tr> <tr> <td>構成 3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>便器</td> <td>その他大便器</td> </tr> <tr> <td>便座</td> <td>温水洗浄機能(水道直結水方式) 節電機能 脱臭機能</td> </tr> <tr> <td>洗浄水量</td> <td>6.5L/回以下(タコ式・洗浄弁式)</td> </tr> </tbody> </table>	項目	評価基準	2. 器具の組合せ		構成 1		便器	Ⅱ形大便器	便座	温水洗浄機能(水道直結水方式) 節電機能 脱臭機能	洗浄水量	6.5L/回以下(タコ式・洗浄弁式)	構成 2		便器	その他大便器	便座	温水洗浄機能(水道直結水方式) 節電機能 脱臭機能	洗浄水量	6.5L/回以下(タコ式・洗浄弁式)	構成 3		便器	その他大便器	便座	温水洗浄機能(水道直結水方式) 節電機能 脱臭機能	洗浄水量	6.5L/回以下(タコ式・洗浄弁式)	データシート2 ○大便器ユニット <table border="1" data-bbox="1146 245 1594 660"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>評価基準</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2. 器具の組合せ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>構成 1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>便器</td> <td>Ⅱ形大便器</td> </tr> <tr> <td>便座</td> <td>温水洗浄機能(水道直結水方式) 節電機能 脱臭機能</td> </tr> <tr> <td>洗浄水量</td> <td>6.5L/回以下(タコ式・洗浄弁式・専用洗浄弁式)</td> </tr> <tr> <td>構成 2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>便器</td> <td>その他大便器</td> </tr> <tr> <td>便座</td> <td>温水洗浄機能(水道直結水方式) 節電機能 脱臭機能</td> </tr> <tr> <td>洗浄水量</td> <td>6.5L/回以下(タコ式・洗浄弁式・専用洗浄弁式)</td> </tr> <tr> <td>構成 3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>便器</td> <td>その他大便器</td> </tr> <tr> <td>便座</td> <td>温水洗浄機能(水道直結水方式) 節電機能 脱臭機能</td> </tr> <tr> <td>洗浄水量</td> <td>6.5L/回以下(タコ式・洗浄弁式・専用洗浄弁式)</td> </tr> </tbody> </table>	項目	評価基準	2. 器具の組合せ		構成 1		便器	Ⅱ形大便器	便座	温水洗浄機能(水道直結水方式) 節電機能 脱臭機能	洗浄水量	6.5L/回以下(タコ式・洗浄弁式・専用洗浄弁式)	構成 2		便器	その他大便器	便座	温水洗浄機能(水道直結水方式) 節電機能 脱臭機能	洗浄水量	6.5L/回以下(タコ式・洗浄弁式・専用洗浄弁式)	構成 3		便器	その他大便器	便座	温水洗浄機能(水道直結水方式) 節電機能 脱臭機能	洗浄水量	6.5L/回以下(タコ式・洗浄弁式・専用洗浄弁式)	JIS 改正による見直し
項目	評価基準																																																										
2. 器具の組合せ																																																											
構成 1																																																											
便器	Ⅱ形大便器																																																										
便座	温水洗浄機能(水道直結水方式) 節電機能 脱臭機能																																																										
洗浄水量	6.5L/回以下(タコ式・洗浄弁式)																																																										
構成 2																																																											
便器	その他大便器																																																										
便座	温水洗浄機能(水道直結水方式) 節電機能 脱臭機能																																																										
洗浄水量	6.5L/回以下(タコ式・洗浄弁式)																																																										
構成 3																																																											
便器	その他大便器																																																										
便座	温水洗浄機能(水道直結水方式) 節電機能 脱臭機能																																																										
洗浄水量	6.5L/回以下(タコ式・洗浄弁式)																																																										
項目	評価基準																																																										
2. 器具の組合せ																																																											
構成 1																																																											
便器	Ⅱ形大便器																																																										
便座	温水洗浄機能(水道直結水方式) 節電機能 脱臭機能																																																										
洗浄水量	6.5L/回以下(タコ式・洗浄弁式・専用洗浄弁式)																																																										
構成 2																																																											
便器	その他大便器																																																										
便座	温水洗浄機能(水道直結水方式) 節電機能 脱臭機能																																																										
洗浄水量	6.5L/回以下(タコ式・洗浄弁式・専用洗浄弁式)																																																										
構成 3																																																											
便器	その他大便器																																																										
便座	温水洗浄機能(水道直結水方式) 節電機能 脱臭機能																																																										
洗浄水量	6.5L/回以下(タコ式・洗浄弁式・専用洗浄弁式)																																																										
衛生器具ユニット	データシート2 ○小便器ユニット <table border="1" data-bbox="479 735 999 1150"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>評価基準</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1. 適用範囲</td> <td>小便器、小便器用節水装置、給水管、排水管、通気管ケーシング等から構成される</td> </tr> <tr> <td>小便器ユニット</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2. 器具の組合せ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>構成 1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>便器</td> <td>壁掛小便器</td> </tr> <tr> <td>洗浄水量</td> <td>トラップの着脱 4L/回以下</td> </tr> <tr> <td>構成 2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>便器</td> <td>床置小便器</td> </tr> <tr> <td>洗浄水量</td> <td>トラップの着脱 4L/回以下</td> </tr> <tr> <td>構成 3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>便器</td> <td>床置小便器</td> </tr> <tr> <td>洗浄水量</td> <td>トラップの着脱 4L/回以下</td> </tr> </tbody> </table>	項目	評価基準	1. 適用範囲	小便器、小便器用節水装置、給水管、排水管、通気管ケーシング等から構成される	小便器ユニット		2. 器具の組合せ		構成 1		便器	壁掛小便器	洗浄水量	トラップの着脱 4L/回以下	構成 2		便器	床置小便器	洗浄水量	トラップの着脱 4L/回以下	構成 3		便器	床置小便器	洗浄水量	トラップの着脱 4L/回以下	データシート2 ○小便器ユニット <table border="1" data-bbox="1189 735 1740 1150"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>評価基準</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1. 適用範囲</td> <td>小便器、小便器用節水装置、給水管、排水管、通気管ケーシング等から構成される</td> </tr> <tr> <td>小便器ユニット</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2. 器具の組合せ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>構成 1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>便器</td> <td>壁掛小便器</td> </tr> <tr> <td>洗浄水量</td> <td>トラップの着脱 4L/回以下(洗浄弁式・専用洗浄弁式)</td> </tr> <tr> <td>構成 2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>便器</td> <td>床置小便器</td> </tr> <tr> <td>洗浄水量</td> <td>トラップの着脱 4L/回以下(洗浄弁式・専用洗浄弁式)</td> </tr> <tr> <td>構成 3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>便器</td> <td>床置小便器</td> </tr> <tr> <td>洗浄水量</td> <td>トラップの着脱 4L/回以下(洗浄弁式・専用洗浄弁式)</td> </tr> </tbody> </table>	項目	評価基準	1. 適用範囲	小便器、小便器用節水装置、給水管、排水管、通気管ケーシング等から構成される	小便器ユニット		2. 器具の組合せ		構成 1		便器	壁掛小便器	洗浄水量	トラップの着脱 4L/回以下(洗浄弁式・専用洗浄弁式)	構成 2		便器	床置小便器	洗浄水量	トラップの着脱 4L/回以下(洗浄弁式・専用洗浄弁式)	構成 3		便器	床置小便器	洗浄水量	トラップの着脱 4L/回以下(洗浄弁式・専用洗浄弁式)	JIS 改正による見直し				
項目	評価基準																																																										
1. 適用範囲	小便器、小便器用節水装置、給水管、排水管、通気管ケーシング等から構成される																																																										
小便器ユニット																																																											
2. 器具の組合せ																																																											
構成 1																																																											
便器	壁掛小便器																																																										
洗浄水量	トラップの着脱 4L/回以下																																																										
構成 2																																																											
便器	床置小便器																																																										
洗浄水量	トラップの着脱 4L/回以下																																																										
構成 3																																																											
便器	床置小便器																																																										
洗浄水量	トラップの着脱 4L/回以下																																																										
項目	評価基準																																																										
1. 適用範囲	小便器、小便器用節水装置、給水管、排水管、通気管ケーシング等から構成される																																																										
小便器ユニット																																																											
2. 器具の組合せ																																																											
構成 1																																																											
便器	壁掛小便器																																																										
洗浄水量	トラップの着脱 4L/回以下(洗浄弁式・専用洗浄弁式)																																																										
構成 2																																																											
便器	床置小便器																																																										
洗浄水量	トラップの着脱 4L/回以下(洗浄弁式・専用洗浄弁式)																																																										
構成 3																																																											
便器	床置小便器																																																										
洗浄水量	トラップの着脱 4L/回以下(洗浄弁式・専用洗浄弁式)																																																										

品目	令和4年度版	令和5年度版	改正理由																																																															
衛生器具ユニット	データシート2 <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">○その他の衛生器具ユニット(3)車椅子対応ユニット</th> </tr> <tr> <th>項目</th> <th>評価基準</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1. 適用範囲 車椅子対応ユニット</td> <td>衛生器具、給水管、排水管、通気管、ケーシング等から構成され、仕様は特記による。</td> </tr> <tr> <td>2. 器具の組合せ</td> <td>便器 高座面Ⅰ形大便器 その他のⅡ形大便器</td> </tr> <tr> <td></td> <td>暖房便座 温水洗浄機能(水道直結水方式)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>洗浄水量 6.5L/回以下(タンク式・洗浄弁式)</td> </tr> </tbody> </table>	○その他の衛生器具ユニット(3)車椅子対応ユニット		項目	評価基準	1. 適用範囲 車椅子対応ユニット	衛生器具、給水管、排水管、通気管、ケーシング等から構成され、仕様は特記による。	2. 器具の組合せ	便器 高座面Ⅰ形大便器 その他のⅡ形大便器		暖房便座 温水洗浄機能(水道直結水方式)		洗浄水量 6.5L/回以下(タンク式・洗浄弁式)	データシート2 <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">○その他の衛生器具ユニット(3)車椅子対応ユニット</th> </tr> <tr> <th>項目</th> <th>評価基準</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1. 適用範囲 車椅子対応ユニット</td> <td>衛生器具、給水管、排水管、通気管、ケーシング等から構成され、仕様は特記による。</td> </tr> <tr> <td>2. 器具の組合せ</td> <td>便器 高座面Ⅰ形大便器 高座面Ⅱ形大便器 Ⅱ形大便器</td> </tr> <tr> <td></td> <td>暖房便座 温水洗浄機能(水道直結水方式)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>洗浄水量 高座面Ⅰ形(8.5±0.5-1.0)L/回 高座面Ⅱ形(6.5±0.5)L/回 Ⅱ型6.5L/回以下</td> </tr> </tbody> </table>	○その他の衛生器具ユニット(3)車椅子対応ユニット		項目	評価基準	1. 適用範囲 車椅子対応ユニット	衛生器具、給水管、排水管、通気管、ケーシング等から構成され、仕様は特記による。	2. 器具の組合せ	便器 高座面Ⅰ形大便器 高座面Ⅱ形大便器 Ⅱ形大便器		暖房便座 温水洗浄機能(水道直結水方式)		洗浄水量 高座面Ⅰ形(8.5±0.5-1.0)L/回 高座面Ⅱ形(6.5±0.5)L/回 Ⅱ型6.5L/回以下	JIS改正による見直し																																							
○その他の衛生器具ユニット(3)車椅子対応ユニット																																																																		
項目	評価基準																																																																	
1. 適用範囲 車椅子対応ユニット	衛生器具、給水管、排水管、通気管、ケーシング等から構成され、仕様は特記による。																																																																	
2. 器具の組合せ	便器 高座面Ⅰ形大便器 その他のⅡ形大便器																																																																	
	暖房便座 温水洗浄機能(水道直結水方式)																																																																	
	洗浄水量 6.5L/回以下(タンク式・洗浄弁式)																																																																	
○その他の衛生器具ユニット(3)車椅子対応ユニット																																																																		
項目	評価基準																																																																	
1. 適用範囲 車椅子対応ユニット	衛生器具、給水管、排水管、通気管、ケーシング等から構成され、仕様は特記による。																																																																	
2. 器具の組合せ	便器 高座面Ⅰ形大便器 高座面Ⅱ形大便器 Ⅱ形大便器																																																																	
	暖房便座 温水洗浄機能(水道直結水方式)																																																																	
	洗浄水量 高座面Ⅰ形(8.5±0.5-1.0)L/回 高座面Ⅱ形(6.5±0.5)L/回 Ⅱ型6.5L/回以下																																																																	
空気清浄装置 ①エアフィルター(折込み形) (HEPA(標準・薄型))	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>単位等</th> <th>評価基準</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2. 素材ユニット</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2.1 素材・セパレーター材質、特性</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2.4 性能</td> <td></td> <td>JISB9927-5(粒子除去用高性能フィルタ(HEPA,HEPA及びULPA)及びフィルタ素材)に規定する第5部(フィルタユニットの試験方法)による</td> </tr> <tr> <td>風量</td> <td>m³/h</td> <td>製造者標準</td> </tr> <tr> <td>初期圧力損失</td> <td>Pa</td> <td>245Pa以下</td> </tr> <tr> <td>試験終了圧力損失</td> <td>Pa</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>使用可能な最終圧力損失</td> <td>Pa</td> <td>製造者標準</td> </tr> <tr> <td>MPPS</td> <td>μm</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>初期粒子捕集率 0.3μm</td> <td>%</td> <td>99.97%以上</td> </tr> </tbody> </table>	項目	単位等	評価基準	2. 素材ユニット			2.1 素材・セパレーター材質、特性			2.4 性能		JISB9927-5(粒子除去用高性能フィルタ(HEPA,HEPA及びULPA)及びフィルタ素材)に規定する第5部(フィルタユニットの試験方法)による	風量	m ³ /h	製造者標準	初期圧力損失	Pa	245Pa以下	試験終了圧力損失	Pa	-	使用可能な最終圧力損失	Pa	製造者標準	MPPS	μm	-	初期粒子捕集率 0.3μm	%	99.97%以上	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>単位等</th> <th>評価基準</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2. 素材ユニット</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2.1 素材・セパレーター材質、特性</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2.4 性能</td> <td></td> <td>JISB9927-5(粒子除去用高性能フィルタ(HEPA,HEPA及びULPA)及びフィルタ素材)に規定する第5部(フィルタユニットの試験方法)による</td> </tr> <tr> <td>試験日</td> <td></td> <td>新規・部時申請の場合、原則として3年以内、更新申請の場合は、6年以内</td> </tr> <tr> <td>風量</td> <td>m³/h</td> <td>製造者標準</td> </tr> <tr> <td>初期圧力損失</td> <td>Pa</td> <td>245Pa以下</td> </tr> <tr> <td>試験終了圧力損失</td> <td>Pa</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>使用可能な最終圧力損失</td> <td>Pa</td> <td>製造者標準</td> </tr> <tr> <td>MPPS</td> <td>μm</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>初期粒子捕集率 0.3μm</td> <td>%</td> <td>99.97%以上</td> </tr> </tbody> </table>	項目	単位等	評価基準	2. 素材ユニット			2.1 素材・セパレーター材質、特性			2.4 性能		JISB9927-5(粒子除去用高性能フィルタ(HEPA,HEPA及びULPA)及びフィルタ素材)に規定する第5部(フィルタユニットの試験方法)による	試験日		新規・部時申請の場合、原則として3年以内、更新申請の場合は、6年以内	風量	m ³ /h	製造者標準	初期圧力損失	Pa	245Pa以下	試験終了圧力損失	Pa	-	使用可能な最終圧力損失	Pa	製造者標準	MPPS	μm	-	初期粒子捕集率 0.3μm	%	99.97%以上	JIS改正による見直しおよび記載内容の整理 ※HEPAの試験方法がJIS B 9908-6が廃止になり、JIS B 9927-5に移行したが、各メーカーの対応が整うまで、旧JISでの対応とする。新JISへの移行時期は、国土交通省と協議中。
項目	単位等	評価基準																																																																
2. 素材ユニット																																																																		
2.1 素材・セパレーター材質、特性																																																																		
2.4 性能		JISB9927-5(粒子除去用高性能フィルタ(HEPA,HEPA及びULPA)及びフィルタ素材)に規定する第5部(フィルタユニットの試験方法)による																																																																
風量	m ³ /h	製造者標準																																																																
初期圧力損失	Pa	245Pa以下																																																																
試験終了圧力損失	Pa	-																																																																
使用可能な最終圧力損失	Pa	製造者標準																																																																
MPPS	μm	-																																																																
初期粒子捕集率 0.3μm	%	99.97%以上																																																																
項目	単位等	評価基準																																																																
2. 素材ユニット																																																																		
2.1 素材・セパレーター材質、特性																																																																		
2.4 性能		JISB9927-5(粒子除去用高性能フィルタ(HEPA,HEPA及びULPA)及びフィルタ素材)に規定する第5部(フィルタユニットの試験方法)による																																																																
試験日		新規・部時申請の場合、原則として3年以内、更新申請の場合は、6年以内																																																																
風量	m ³ /h	製造者標準																																																																
初期圧力損失	Pa	245Pa以下																																																																
試験終了圧力損失	Pa	-																																																																
使用可能な最終圧力損失	Pa	製造者標準																																																																
MPPS	μm	-																																																																
初期粒子捕集率 0.3μm	%	99.97%以上																																																																

品目	令和4年度版	令和5年度版	改正理由																																																																																																																								
全熱交換器 ①全熱交換器(回転形、静 止形) ※共通	データシート1 <table border="1" data-bbox="622 244 958 592"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>単位等</th> <th>評価基準</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3.品質・性能</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3.1熱交換エレメント</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3.1.4形状・性能</td> <td></td> <td>排気側空気が、結露側に移行するのを防止できる構造とする</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">3.1.5運転条件</td> <td>最大使用 吸込み側 静圧</td> <td>Pa</td> </tr> <tr> <td>最大使用 排込み側 静圧</td> <td>Pa</td> </tr> <tr> <td>使用温度範囲</td> <td>℃</td> <td>5℃～35℃の範囲以上</td> </tr> <tr> <td>使用湿度範囲(RH)</td> <td>%</td> <td>30%～95%の範囲以上</td> </tr> <tr> <td>試験方法、試験条件、試験装置、試験機関</td> <td></td> <td>JIS B 8628(全熱交換器)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">3.1.6エレメントの保護</td> <td>試験データの提出</td> <td></td> <td>提出</td> </tr> <tr> <td>保護装置 必要性</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>名称</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>材質</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>規格</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>備考</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3.2排気の移行防止</td> <td></td> <td>移行試験の実施の有無</td> <td>排気側空気が、結露側に移行するのを防止できる構造</td> </tr> <tr> <td>試験方法、試験条件、試験装置、試験機関</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>試験データの提出</td> <td></td> <td></td> <td>提出</td> </tr> </tbody> </table>	項目	単位等	評価基準	3.品質・性能			3.1熱交換エレメント			3.1.4形状・性能		排気側空気が、結露側に移行するのを防止できる構造とする	3.1.5運転条件	最大使用 吸込み側 静圧	Pa	最大使用 排込み側 静圧	Pa	使用温度範囲	℃	5℃～35℃の範囲以上	使用湿度範囲(RH)	%	30%～95%の範囲以上	試験方法、試験条件、試験装置、試験機関		JIS B 8628(全熱交換器)	3.1.6エレメントの保護	試験データの提出		提出	保護装置 必要性			名称			材質			規格			備考			3.2排気の移行防止		移行試験の実施の有無	排気側空気が、結露側に移行するのを防止できる構造	試験方法、試験条件、試験装置、試験機関				試験データの提出			提出	データシート1 <table border="1" data-bbox="1294 244 1644 555"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>単位等</th> <th>評価基準</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3.品質・性能</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3.1熱交換エレメント</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">3.1.4試験状態</td> <td>使用温度範囲</td> <td>℃</td> <td>5℃～35℃の範囲</td> </tr> <tr> <td>使用湿度範囲(RH)</td> <td>%</td> <td>30%～95%の範囲</td> </tr> <tr> <td>試験方法、試験条件、試験装置、試験機関</td> <td></td> <td></td> <td>JIS B 8628(全熱交換器)</td> </tr> <tr> <td>試験データの提出</td> <td></td> <td></td> <td>提出</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">3.1.5エレメントの保護</td> <td>保護装置</td> <td>必要性</td> <td></td> </tr> <tr> <td>名称</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>材質</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>規格</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>備考</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">3.2有効換気性能</td> <td>有効換気量及び有効換気量率試験の実施の有無</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>試験方法、試験条件、試験装置、試験機関</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>試験データの提出</td> <td></td> <td></td> <td>提出</td> </tr> </tbody> </table>	項目	単位等	評価基準	3.品質・性能			3.1熱交換エレメント			3.1.4試験状態	使用温度範囲	℃	5℃～35℃の範囲	使用湿度範囲(RH)	%	30%～95%の範囲	試験方法、試験条件、試験装置、試験機関			JIS B 8628(全熱交換器)	試験データの提出			提出	3.1.5エレメントの保護	保護装置	必要性		名称			材質			規格			備考			3.2有効換気性能	有効換気量及び有効換気量率試験の実施の有無			試験方法、試験条件、試験装置、試験機関			試験データの提出			提出	JIS 改正による見直し および記載内容の整理												
項目	単位等	評価基準																																																																																																																									
3.品質・性能																																																																																																																											
3.1熱交換エレメント																																																																																																																											
3.1.4形状・性能		排気側空気が、結露側に移行するのを防止できる構造とする																																																																																																																									
3.1.5運転条件	最大使用 吸込み側 静圧	Pa																																																																																																																									
	最大使用 排込み側 静圧	Pa																																																																																																																									
	使用温度範囲	℃	5℃～35℃の範囲以上																																																																																																																								
	使用湿度範囲(RH)	%	30%～95%の範囲以上																																																																																																																								
試験方法、試験条件、試験装置、試験機関		JIS B 8628(全熱交換器)																																																																																																																									
3.1.6エレメントの保護	試験データの提出		提出																																																																																																																								
	保護装置 必要性																																																																																																																										
名称																																																																																																																											
材質																																																																																																																											
規格																																																																																																																											
備考																																																																																																																											
3.2排気の移行防止		移行試験の実施の有無	排気側空気が、結露側に移行するのを防止できる構造																																																																																																																								
試験方法、試験条件、試験装置、試験機関																																																																																																																											
試験データの提出			提出																																																																																																																								
項目	単位等	評価基準																																																																																																																									
3.品質・性能																																																																																																																											
3.1熱交換エレメント																																																																																																																											
3.1.4試験状態	使用温度範囲	℃	5℃～35℃の範囲																																																																																																																								
	使用湿度範囲(RH)	%	30%～95%の範囲																																																																																																																								
試験方法、試験条件、試験装置、試験機関			JIS B 8628(全熱交換器)																																																																																																																								
試験データの提出			提出																																																																																																																								
3.1.5エレメントの保護	保護装置	必要性																																																																																																																									
	名称																																																																																																																										
材質																																																																																																																											
規格																																																																																																																											
備考																																																																																																																											
3.2有効換気性能	有効換気量及び有効換気量率試験の実施の有無																																																																																																																										
	試験方法、試験条件、試験装置、試験機関																																																																																																																										
試験データの提出			提出																																																																																																																								
全熱交換器 ①全熱交換器(回転形)	データシート2 <table border="1" data-bbox="645 655 943 1110"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>単位等</th> <th>評価基準</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">性能</td> <td>給排風量比</td> <td></td> <td>給気・排気量同一</td> </tr> <tr> <td>面風速</td> <td>m/s</td> <td>1.5m/sの時</td> </tr> <tr> <td>風量</td> <td>m³/h</td> <td></td> </tr> <tr> <td>静圧損失</td> <td>Pa</td> <td>仕様表示値の±10%以内</td> </tr> <tr> <td rowspan="7">熱交換エレメント</td> <td>給排風量比</td> <td></td> <td>給気・排気量同一</td> </tr> <tr> <td>面風速</td> <td>m/s</td> <td>2.5m/sの時</td> </tr> <tr> <td>適用温度</td> <td>℃</td> <td>5～35℃</td> </tr> <tr> <td>適用湿度</td> <td>RH</td> <td>30～95%</td> </tr> <tr> <td>顕熱交換効率</td> <td>%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>潜熱交換効率</td> <td>%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>全熱交換効率</td> <td>冷房 %</td> <td>75%以上</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">排気の移行</td> <td>移行の有無</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>吸込み側 静圧</td> <td>250 Pa</td> <td></td> </tr> <tr> <td>500 Pa</td> <td></td> </tr> <tr> <td>700 Pa</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			単位等	評価基準	性能	給排風量比		給気・排気量同一	面風速	m/s	1.5m/sの時	風量	m ³ /h		静圧損失	Pa	仕様表示値の±10%以内	熱交換エレメント	給排風量比		給気・排気量同一	面風速	m/s	2.5m/sの時	適用温度	℃	5～35℃	適用湿度	RH	30～95%	顕熱交換効率	%		潜熱交換効率	%		全熱交換効率	冷房 %	75%以上	排気の移行	移行の有無			吸込み側 静圧	250 Pa		500 Pa		700 Pa		データシート2 <table border="1" data-bbox="1330 647 1610 1121"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>単位等</th> <th>評価基準</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">性能</td> <td>給排風量比</td> <td></td> <td>給気・排気量同一</td> </tr> <tr> <td>風量</td> <td>m³/h</td> <td></td> </tr> <tr> <td>静圧損失</td> <td>Pa</td> <td>仕様表示値の±10%以内</td> </tr> <tr> <td>有効換気量率</td> <td>%</td> <td>仕様表示値以上</td> </tr> <tr> <td>排気移行率</td> <td>%</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="13">熱交換器</td> <td rowspan="2">面風速</td> <td></td> <td>m/s</td> <td>2.5m/s</td> </tr> <tr> <td>室外 乾球 温度</td> <td>冷房 暖房</td> <td>℃</td> <td>35±0.3℃</td> </tr> <tr> <td>室外 湿度 温度</td> <td>冷房 暖房</td> <td>℃</td> <td>5±0.3℃</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">室内 乾球 温度</td> <td>冷房 暖房</td> <td>℃</td> <td>31±0.2℃</td> </tr> <tr> <td>湿度 温度</td> <td>冷房 暖房</td> <td>℃</td> <td>3±0.2℃</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">室内 湿度 温度</td> <td>冷房 暖房</td> <td>℃</td> <td>27±0.3℃</td> </tr> <tr> <td>湿度 温度</td> <td>冷房 暖房</td> <td>℃</td> <td>20±0.3℃</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">室内 湿度 温度</td> <td>冷房 暖房</td> <td>℃</td> <td>20±0.2℃</td> </tr> <tr> <td>湿度 温度</td> <td>冷房 暖房</td> <td>℃</td> <td>15±0.2℃</td> </tr> <tr> <td>顕熱交換効率</td> <td>%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>潜熱交換効率</td> <td>%</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">全熱交換効率</td> <td>冷房</td> <td>%</td> <td>75%以上</td> </tr> <tr> <td>暖房</td> <td>%</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			単位等	評価基準	性能	給排風量比		給気・排気量同一	風量	m ³ /h		静圧損失	Pa	仕様表示値の±10%以内	有効換気量率	%	仕様表示値以上	排気移行率	%		熱交換器	面風速		m/s	2.5m/s	室外 乾球 温度	冷房 暖房	℃	35±0.3℃	室外 湿度 温度	冷房 暖房	℃	5±0.3℃	室内 乾球 温度	冷房 暖房	℃	31±0.2℃	湿度 温度	冷房 暖房	℃	3±0.2℃	室内 湿度 温度	冷房 暖房	℃	27±0.3℃	湿度 温度	冷房 暖房	℃	20±0.3℃	室内 湿度 温度	冷房 暖房	℃	20±0.2℃	湿度 温度	冷房 暖房	℃	15±0.2℃	顕熱交換効率	%		潜熱交換効率	%		全熱交換効率	冷房	%	75%以上	暖房	%		JIS 改正による見直し
		単位等	評価基準																																																																																																																								
性能	給排風量比		給気・排気量同一																																																																																																																								
	面風速	m/s	1.5m/sの時																																																																																																																								
	風量	m ³ /h																																																																																																																									
	静圧損失	Pa	仕様表示値の±10%以内																																																																																																																								
熱交換エレメント	給排風量比		給気・排気量同一																																																																																																																								
	面風速	m/s	2.5m/sの時																																																																																																																								
	適用温度	℃	5～35℃																																																																																																																								
	適用湿度	RH	30～95%																																																																																																																								
	顕熱交換効率	%																																																																																																																									
	潜熱交換効率	%																																																																																																																									
	全熱交換効率	冷房 %	75%以上																																																																																																																								
排気の移行	移行の有無																																																																																																																										
	吸込み側 静圧	250 Pa																																																																																																																									
	500 Pa																																																																																																																										
700 Pa																																																																																																																											
		単位等	評価基準																																																																																																																								
性能	給排風量比		給気・排気量同一																																																																																																																								
	風量	m ³ /h																																																																																																																									
	静圧損失	Pa	仕様表示値の±10%以内																																																																																																																								
	有効換気量率	%	仕様表示値以上																																																																																																																								
	排気移行率	%																																																																																																																									
熱交換器	面風速		m/s	2.5m/s																																																																																																																							
		室外 乾球 温度	冷房 暖房	℃	35±0.3℃																																																																																																																						
	室外 湿度 温度	冷房 暖房	℃	5±0.3℃																																																																																																																							
	室内 乾球 温度	冷房 暖房	℃	31±0.2℃																																																																																																																							
		湿度 温度	冷房 暖房	℃	3±0.2℃																																																																																																																						
	室内 湿度 温度	冷房 暖房	℃	27±0.3℃																																																																																																																							
		湿度 温度	冷房 暖房	℃	20±0.3℃																																																																																																																						
	室内 湿度 温度	冷房 暖房	℃	20±0.2℃																																																																																																																							
		湿度 温度	冷房 暖房	℃	15±0.2℃																																																																																																																						
	顕熱交換効率	%																																																																																																																									
	潜熱交換効率	%																																																																																																																									
	全熱交換効率	冷房	%	75%以上																																																																																																																							
		暖房	%																																																																																																																								

品目	令和4年度版	令和5年度版	改正理由																																																																																																																					
全熱交換器 ①全熱交換器（静止形）	データシート2 <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>単位等</th> <th>評価基準</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">性能</td> <td>給排風量比</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>面風速</td> <td>m/s</td> <td>1.5m/sの時</td> </tr> <tr> <td>風量</td> <td>m³/h</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">熱交換エレメント</td> <td>静圧損失</td> <td>Pa</td> <td>仕様表示値の±10%以内</td> </tr> <tr> <td>給排風量比</td> <td></td> <td>給気・排気量同一</td> </tr> <tr> <td>面風速</td> <td>m/s</td> <td>1.0m/sの時</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">熱交換効率</td> <td>適用温度</td> <td>℃</td> <td>5～35℃</td> </tr> <tr> <td>適用湿度</td> <td>RH</td> <td>30～95%</td> </tr> <tr> <td>顕熱交換効率</td> <td>%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>潜熱交換効率</td> <td>%</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">全熱交換効率</td> <td>冷房</td> <td>%</td> <td>70%以上</td> </tr> <tr> <td>暖房</td> <td>%</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">排気の移行</td> <td>移行の有無</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">吸込み側全圧</td> <td>250 Pa</td> <td></td> </tr> <tr> <td>500 Pa</td> <td></td> </tr> <tr> <td>700 Pa</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			単位等	評価基準	性能	給排風量比			面風速	m/s	1.5m/sの時	風量	m ³ /h		熱交換エレメント	静圧損失	Pa	仕様表示値の±10%以内	給排風量比		給気・排気量同一	面風速	m/s	1.0m/sの時	熱交換効率	適用温度	℃	5～35℃	適用湿度	RH	30～95%	顕熱交換効率	%		潜熱交換効率	%		全熱交換効率	冷房	%	70%以上	暖房	%		排気の移行	移行の有無			吸込み側全圧	250 Pa		500 Pa		700 Pa		データシート2 <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>単位等</th> <th>評価基準</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">性能</td> <td>給排風量比</td> <td></td> <td>給気・排気量同一</td> </tr> <tr> <td>風量</td> <td>m³/h</td> <td></td> </tr> <tr> <td>静圧損失</td> <td>Pa</td> <td>仕様表示値の±10%以内</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">熱交換器</td> <td>有効換気量率</td> <td>%</td> <td>仕様表示値以上</td> </tr> <tr> <td>排気移行率</td> <td>%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>面風速</td> <td>m/s</td> <td>1.0m/s</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">熱交換効率</td> <td>屋外乾球温度</td> <td>冷房 ℃</td> <td>35±0.3℃</td> </tr> <tr> <td>屋外湿球温度</td> <td>暖房 ℃</td> <td>5±0.3℃</td> </tr> <tr> <td>屋外乾球温度</td> <td>冷房 ℃</td> <td>31±0.2℃</td> </tr> <tr> <td>屋外湿球温度</td> <td>暖房 ℃</td> <td>3±0.2℃</td> </tr> <tr> <td>屋内乾球温度</td> <td>冷房 ℃</td> <td>27±0.3℃</td> </tr> <tr> <td>屋内湿球温度</td> <td>暖房 ℃</td> <td>20±0.3℃</td> </tr> <tr> <td>屋内乾球温度</td> <td>冷房 ℃</td> <td>20±0.2℃</td> </tr> <tr> <td>屋内湿球温度</td> <td>暖房 ℃</td> <td>15±0.2℃</td> </tr> <tr> <td>顕熱交換効率</td> <td>%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>潜熱交換効率</td> <td>%</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">全熱交換効率</td> <td>冷房</td> <td>%</td> <td>70%以上</td> </tr> <tr> <td>暖房</td> <td>%</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			単位等	評価基準	性能	給排風量比		給気・排気量同一	風量	m ³ /h		静圧損失	Pa	仕様表示値の±10%以内	熱交換器	有効換気量率	%	仕様表示値以上	排気移行率	%		面風速	m/s	1.0m/s	熱交換効率	屋外乾球温度	冷房 ℃	35±0.3℃	屋外湿球温度	暖房 ℃	5±0.3℃	屋外乾球温度	冷房 ℃	31±0.2℃	屋外湿球温度	暖房 ℃	3±0.2℃	屋内乾球温度	冷房 ℃	27±0.3℃	屋内湿球温度	暖房 ℃	20±0.3℃	屋内乾球温度	冷房 ℃	20±0.2℃	屋内湿球温度	暖房 ℃	15±0.2℃	顕熱交換効率	%		潜熱交換効率	%		全熱交換効率	冷房	%	70%以上	暖房	%		JIS改正による見直し
		単位等	評価基準																																																																																																																					
性能	給排風量比																																																																																																																							
	面風速	m/s	1.5m/sの時																																																																																																																					
	風量	m ³ /h																																																																																																																						
熱交換エレメント	静圧損失	Pa	仕様表示値の±10%以内																																																																																																																					
	給排風量比		給気・排気量同一																																																																																																																					
	面風速	m/s	1.0m/sの時																																																																																																																					
熱交換効率	適用温度	℃	5～35℃																																																																																																																					
	適用湿度	RH	30～95%																																																																																																																					
	顕熱交換効率	%																																																																																																																						
	潜熱交換効率	%																																																																																																																						
	全熱交換効率	冷房	%	70%以上																																																																																																																				
		暖房	%																																																																																																																					
排気の移行	移行の有無																																																																																																																							
	吸込み側全圧	250 Pa																																																																																																																						
		500 Pa																																																																																																																						
700 Pa																																																																																																																								
		単位等	評価基準																																																																																																																					
性能	給排風量比		給気・排気量同一																																																																																																																					
	風量	m ³ /h																																																																																																																						
	静圧損失	Pa	仕様表示値の±10%以内																																																																																																																					
熱交換器	有効換気量率	%	仕様表示値以上																																																																																																																					
	排気移行率	%																																																																																																																						
	面風速	m/s	1.0m/s																																																																																																																					
熱交換効率	屋外乾球温度	冷房 ℃	35±0.3℃																																																																																																																					
	屋外湿球温度	暖房 ℃	5±0.3℃																																																																																																																					
	屋外乾球温度	冷房 ℃	31±0.2℃																																																																																																																					
	屋外湿球温度	暖房 ℃	3±0.2℃																																																																																																																					
	屋内乾球温度	冷房 ℃	27±0.3℃																																																																																																																					
	屋内湿球温度	暖房 ℃	20±0.3℃																																																																																																																					
	屋内乾球温度	冷房 ℃	20±0.2℃																																																																																																																					
	屋内湿球温度	暖房 ℃	15±0.2℃																																																																																																																					
	顕熱交換効率	%																																																																																																																						
	潜熱交換効率	%																																																																																																																						
全熱交換効率	冷房	%	70%以上																																																																																																																					
	暖房	%																																																																																																																						
全熱交換器 ②全熱交換ユニット	データシート1 <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>単位等</th> <th>評価基準</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3.品質・性能</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3.1.熱交換エレメント</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3.1.4.形状性能</td> <td></td> <td>排気側空気が給気側に移行するのを防止できる構造</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">3.1.5.運転条件</td> <td>最大使用吸込み側全静圧</td> <td>Pa</td> <td></td> </tr> <tr> <td>最大使用排込み側全静圧</td> <td>Pa</td> <td></td> </tr> <tr> <td>使用温度範囲</td> <td>℃</td> <td>5℃～35℃の範囲以上</td> </tr> <tr> <td>使用湿度範囲(RH)</td> <td>%</td> <td>30%～95%の範囲以上</td> </tr> <tr> <td>試験方法、試験条件、試験装置、試験機関</td> <td></td> <td>JIS B 8628(全熱交換器)</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">3.1.6.エレメントの保護</td> <td>試験データの提出</td> <td></td> <td>提出</td> </tr> <tr> <td>保護装置</td> <td>必要性</td> <td></td> </tr> <tr> <td>名称</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>材質</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">3.2.排気の移行防止</td> <td>規格</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>備考</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">3.2.排気の移行防止</td> <td>移行試験の実施の有無</td> <td></td> <td>排気側空気が給気側に移行するのを防止できる構造</td> </tr> <tr> <td>試験方法、試験条件、試験装置、試験機関</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>試験データの提出</td> <td></td> <td>提出</td> </tr> </tbody> </table>	項目	単位等	評価基準	3.品質・性能			3.1.熱交換エレメント			3.1.4.形状性能		排気側空気が給気側に移行するのを防止できる構造	3.1.5.運転条件	最大使用吸込み側全静圧	Pa		最大使用排込み側全静圧	Pa		使用温度範囲	℃	5℃～35℃の範囲以上	使用湿度範囲(RH)	%	30%～95%の範囲以上	試験方法、試験条件、試験装置、試験機関		JIS B 8628(全熱交換器)	3.1.6.エレメントの保護	試験データの提出		提出	保護装置	必要性		名称			材質			3.2.排気の移行防止	規格			備考			3.2.排気の移行防止	移行試験の実施の有無		排気側空気が給気側に移行するのを防止できる構造	試験方法、試験条件、試験装置、試験機関			試験データの提出		提出	データシート1 <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>単位等</th> <th>評価基準</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3.品質・性能</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3.1.熱交換エレメント</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">3.1.4.試験状態</td> <td>使用温度範囲</td> <td>℃</td> <td>5℃～35℃の範囲</td> </tr> <tr> <td>使用湿度範囲(RH)</td> <td>%</td> <td>30%～95%の範囲</td> </tr> <tr> <td>試験方法、試験条件、試験データの提出</td> <td></td> <td>JIS B 8628(全熱交換器)提出</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">3.1.5.エレメントの保護</td> <td>保護装置</td> <td>必要性</td> <td></td> </tr> <tr> <td>名称</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>材質</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">3.2.有効換気性能</td> <td>規格</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>有効換気量及び有効換気量率試験の実施の有無</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">3.2.排気の移行防止</td> <td>試験方法、試験条件、試験データの提出</td> <td></td> <td>提出</td> </tr> <tr> <td>試験データの提出</td> <td></td> <td>提出</td> </tr> </tbody> </table>	項目	単位等	評価基準	3.品質・性能			3.1.熱交換エレメント			3.1.4.試験状態	使用温度範囲	℃	5℃～35℃の範囲	使用湿度範囲(RH)	%	30%～95%の範囲	試験方法、試験条件、試験データの提出		JIS B 8628(全熱交換器)提出	3.1.5.エレメントの保護	保護装置	必要性		名称			材質			3.2.有効換気性能	規格			有効換気量及び有効換気量率試験の実施の有無			3.2.排気の移行防止	試験方法、試験条件、試験データの提出		提出	試験データの提出		提出	JIS改正による見直し																
項目	単位等	評価基準																																																																																																																						
3.品質・性能																																																																																																																								
3.1.熱交換エレメント																																																																																																																								
3.1.4.形状性能		排気側空気が給気側に移行するのを防止できる構造																																																																																																																						
3.1.5.運転条件	最大使用吸込み側全静圧	Pa																																																																																																																						
	最大使用排込み側全静圧	Pa																																																																																																																						
	使用温度範囲	℃	5℃～35℃の範囲以上																																																																																																																					
	使用湿度範囲(RH)	%	30%～95%の範囲以上																																																																																																																					
	試験方法、試験条件、試験装置、試験機関		JIS B 8628(全熱交換器)																																																																																																																					
3.1.6.エレメントの保護	試験データの提出		提出																																																																																																																					
	保護装置	必要性																																																																																																																						
	名称																																																																																																																							
	材質																																																																																																																							
3.2.排気の移行防止	規格																																																																																																																							
	備考																																																																																																																							
3.2.排気の移行防止	移行試験の実施の有無		排気側空気が給気側に移行するのを防止できる構造																																																																																																																					
	試験方法、試験条件、試験装置、試験機関																																																																																																																							
	試験データの提出		提出																																																																																																																					
項目	単位等	評価基準																																																																																																																						
3.品質・性能																																																																																																																								
3.1.熱交換エレメント																																																																																																																								
3.1.4.試験状態	使用温度範囲	℃	5℃～35℃の範囲																																																																																																																					
	使用湿度範囲(RH)	%	30%～95%の範囲																																																																																																																					
	試験方法、試験条件、試験データの提出		JIS B 8628(全熱交換器)提出																																																																																																																					
3.1.5.エレメントの保護	保護装置	必要性																																																																																																																						
	名称																																																																																																																							
	材質																																																																																																																							
3.2.有効換気性能	規格																																																																																																																							
	有効換気量及び有効換気量率試験の実施の有無																																																																																																																							
3.2.排気の移行防止	試験方法、試験条件、試験データの提出		提出																																																																																																																					
	試験データの提出		提出																																																																																																																					

品目	令和4年度版	令和5年度版	改正理由																																																																																																																																											
全熱交換器 ②全熱交換ユニット	データシート2 <table border="1" data-bbox="622 244 965 708"> <tr> <td rowspan="13" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">熱交換エレメント</td> <td rowspan="4" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">性能</td> <td>給排風量比</td> <td></td> <td></td> <td>評</td> </tr> <tr> <td>面風速</td> <td>m/s</td> <td></td> <td>評</td> </tr> <tr> <td>風量</td> <td>m³/h</td> <td>仕様表示値の±10%以内</td> <td>JIS</td> </tr> <tr> <td>静圧損失</td> <td>Pa</td> <td></td> <td>評</td> </tr> <tr> <td rowspan="7" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">熱交換効率</td> <td>給排風量比</td> <td></td> <td>給気・排気量同一</td> <td>仕</td> </tr> <tr> <td>面風速</td> <td>m/s</td> <td></td> <td>評</td> </tr> <tr> <td>適用温度</td> <td>℃</td> <td>5~35℃</td> <td>評</td> </tr> <tr> <td>適用湿度</td> <td>RH</td> <td>30~95%</td> <td>評</td> </tr> <tr> <td>顕熱交換効率</td> <td>%</td> <td></td> <td>評</td> </tr> <tr> <td>潜熱交換効率</td> <td>%</td> <td></td> <td>評</td> </tr> <tr> <td>全熱交換効率</td> <td>冷房 %</td> <td>1000m³/h未満は58%、1000m³/h以上は60%以上</td> <td>仕</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">排気の移行</td> <td>移行の有無</td> <td></td> <td></td> <td>評</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">吸全込み側</td> <td>50</td> <td>Pa</td> <td>評</td> </tr> <tr> <td>70</td> <td>Pa</td> <td>評</td> </tr> <tr> <td></td> <td>100</td> <td>Pa</td> <td>評</td> </tr> </table>	熱交換エレメント	性能	給排風量比			評	面風速	m/s		評	風量	m ³ /h	仕様表示値の±10%以内	JIS	静圧損失	Pa		評	熱交換効率	給排風量比		給気・排気量同一	仕	面風速	m/s		評	適用温度	℃	5~35℃	評	適用湿度	RH	30~95%	評	顕熱交換効率	%		評	潜熱交換効率	%		評	全熱交換効率	冷房 %	1000m ³ /h未満は58%、1000m ³ /h以上は60%以上	仕	排気の移行	移行の有無			評	吸全込み側	50	Pa	評	70	Pa	評		100	Pa	評	データシート2 <table border="1" data-bbox="1294 248 1637 743"> <tr> <td rowspan="13" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">熱交換器</td> <td rowspan="5" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">性能</td> <td>給排風量比</td> <td></td> <td>給気・排気量同一</td> <td>仕</td> </tr> <tr> <td>風量</td> <td>m³/h</td> <td>仕様表示値の±10%以内</td> <td>JIS</td> </tr> <tr> <td>有効換気量率</td> <td>%</td> <td>仕様表示値以上</td> <td>JIS</td> </tr> <tr> <td>排気移行率</td> <td>%</td> <td></td> <td>評</td> </tr> <tr> <td>面風速</td> <td>m/s</td> <td></td> <td>評</td> </tr> <tr> <td rowspan="8" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">熱交換効率</td> <td rowspan="2">屋外乾球温度</td> <td>冷房</td> <td>℃</td> <td>35±0.3℃</td> <td>JIS</td> </tr> <tr> <td>暖房</td> <td>℃</td> <td>5±0.3℃</td> <td>JIS</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">屋外湿球温度</td> <td>冷房</td> <td>℃</td> <td>31±0.2℃</td> <td>JIS</td> </tr> <tr> <td>暖房</td> <td>℃</td> <td>3±0.2℃</td> <td>JIS</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">屋内乾球温度</td> <td>冷房</td> <td>℃</td> <td>27±0.3℃</td> <td>JIS</td> </tr> <tr> <td>暖房</td> <td>℃</td> <td>20±0.3℃</td> <td>JIS</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">屋内湿球温度</td> <td>冷房</td> <td>℃</td> <td>20±0.2℃</td> <td>JIS</td> </tr> <tr> <td>暖房</td> <td>℃</td> <td>15±0.2℃</td> <td>JIS</td> </tr> <tr> <td>顕熱交換効率</td> <td>%</td> <td></td> <td>評</td> </tr> <tr> <td>潜熱交換効率</td> <td>%</td> <td></td> <td>評</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">全熱交換効率</td> <td>冷房</td> <td>%</td> <td>1000m³/h未満は58%、1000m³/h以上は60%以上</td> <td>仕</td> </tr> <tr> <td>暖房</td> <td>%</td> <td></td> <td>仕</td> </tr> </table>	熱交換器	性能	給排風量比		給気・排気量同一	仕	風量	m ³ /h	仕様表示値の±10%以内	JIS	有効換気量率	%	仕様表示値以上	JIS	排気移行率	%		評	面風速	m/s		評	熱交換効率	屋外乾球温度	冷房	℃	35±0.3℃	JIS	暖房	℃	5±0.3℃	JIS	屋外湿球温度	冷房	℃	31±0.2℃	JIS	暖房	℃	3±0.2℃	JIS	屋内乾球温度	冷房	℃	27±0.3℃	JIS	暖房	℃	20±0.3℃	JIS	屋内湿球温度	冷房	℃	20±0.2℃	JIS	暖房	℃	15±0.2℃	JIS	顕熱交換効率	%		評	潜熱交換効率	%		評	全熱交換効率	冷房	%	1000m ³ /h未満は58%、1000m ³ /h以上は60%以上	仕	暖房	%		仕	JIS改正による見直し
熱交換エレメント	性能			給排風量比			評																																																																																																																																							
				面風速	m/s		評																																																																																																																																							
				風量	m ³ /h	仕様表示値の±10%以内	JIS																																																																																																																																							
			静圧損失	Pa		評																																																																																																																																								
	熱交換効率		給排風量比		給気・排気量同一	仕																																																																																																																																								
			面風速	m/s		評																																																																																																																																								
			適用温度	℃	5~35℃	評																																																																																																																																								
			適用湿度	RH	30~95%	評																																																																																																																																								
			顕熱交換効率	%		評																																																																																																																																								
			潜熱交換効率	%		評																																																																																																																																								
			全熱交換効率	冷房 %	1000m ³ /h未満は58%、1000m ³ /h以上は60%以上	仕																																																																																																																																								
	排気の移行		移行の有無			評																																																																																																																																								
		吸全込み側	50	Pa	評																																																																																																																																									
70			Pa	評																																																																																																																																										
	100	Pa	評																																																																																																																																											
熱交換器	性能	給排風量比		給気・排気量同一	仕																																																																																																																																									
		風量	m ³ /h	仕様表示値の±10%以内	JIS																																																																																																																																									
		有効換気量率	%	仕様表示値以上	JIS																																																																																																																																									
		排気移行率	%		評																																																																																																																																									
		面風速	m/s		評																																																																																																																																									
	熱交換効率	屋外乾球温度	冷房	℃	35±0.3℃	JIS																																																																																																																																								
			暖房	℃	5±0.3℃	JIS																																																																																																																																								
		屋外湿球温度	冷房	℃	31±0.2℃	JIS																																																																																																																																								
			暖房	℃	3±0.2℃	JIS																																																																																																																																								
		屋内乾球温度	冷房	℃	27±0.3℃	JIS																																																																																																																																								
			暖房	℃	20±0.3℃	JIS																																																																																																																																								
		屋内湿球温度	冷房	℃	20±0.2℃	JIS																																																																																																																																								
			暖房	℃	15±0.2℃	JIS																																																																																																																																								
顕熱交換効率	%		評																																																																																																																																											
潜熱交換効率	%		評																																																																																																																																											
全熱交換効率	冷房	%	1000m ³ /h未満は58%、1000m ³ /h以上は60%以上	仕																																																																																																																																										
	暖房	%		仕																																																																																																																																										